

A. 日 時 2015年5月18日 曜日 15時30分～17時30分

B. 場 所 本会会議室

C. 出席者 松本主査、他9名

D. 提出資料 (提出委員名も記入して下さい)

No. 10-01 : 第09回環境振動性能評価小委員会 議事録(案)

No. 10-02 : Exploratory analyses and modeling of parameters influencing occupant behavior due to low-frequency random building motion

No. 10-03 : A longitudinal field study of the effects of wind-induced building motion on occupant wellbeing and work performance

No. 10-04 : 建物の水平振動に及ぼす人間荷重の影響

E. 審議事項

1. 議事録確認

資料 10-01 「第09回環境振動性能評価小委員会 議事録(案)」について報告

A) 前回委員会議事録内容の確認

→ 承認された

2. 運営委員会活動報告

A) 運営委員会報告

→ 2015年度からの環境振動運営委員会主査、幹事が報告された

→ 環境振動分野でも若手研究者の表彰を行うことが決定した

→ 来年度の大会は福岡大学で開催、8月24日(水)、25日(木)、26日(金)を予定

3. 議論

A) 「ISO6897の改定」について松本主査より報告

※ 5年定期見直しを実施中、投票期限は6月15日、5月中に国内各団体からの意見を集約し提出

→ 国内他団体・近接他分野(例えば構造系等)からの意見が寄せられることはないのか?

→ 0.1Hz以下の低振動数の測定手法(測定機器の精度)に関して懸念がある(2631-1では低振動数範囲における測定手法が規定されている)

→ 前述低振動数範囲の測定法に関し、当小委員会からの意見として提出する

→ 今後とも諸外国等から寄せられた意見等についても注視する

B) 資料 10-02 「Exploratory analyses and modeling of parameters influencing occupant behavior due to low-frequency random building motion」について松本主査より報告

※ 実験室での被験者暴露実験

- 不快感について、振動数・加速度・文化・乗り物酔いを説明変数として評価
- 苦情の発生については、上記+期間を説明変数として評価

C) 資料 10-03 「A longitudinal field study of the effects of wind-induced building motion on occupant wellbeing and work performance」について松本主査より報告

※ 実在高層ビルでの実務者アンケート調査

- 風速を基準に風の状況を3つのレベルに分け、知覚や不快感等に関し、アンケート調査を実施
- 最終的な評価を行うにあたっては、知覚評価のみならず作業性等も考慮した評価を行う必要もあるのでは、との意見が寄せられた
- 長周期地震動は、継続時間が長くなることから、環境振動分野の範疇となる可能性がある

D) 資料 10-04 「建物の水平振動に及ぼす人間荷重の影響」について報告

※ 木造建築物を対象とした人体載荷時の水平振動への影響

- 立位ではダンパーとして働かないが、座位の場合は減衰等が向上する
- 人体の荷重は床の固有周期に影響を与えないが、減衰には影響を与える（特に根太位置や小梁に分布的に配置された場合）

### 3. 次回以降の課題

- ※ 「居住性能評価指針」と「設計指針」の位置づけについて
- ※ 評価指針への提言
- ※ 環境振動に関するホットな話題を随時募集
- ※ 評価WGでの活動内容の報告
- ※ 水平振動と鉛直振動を分けて考えているが？（交通振動に着目すると、水平と鉛直の両研究があるので関連付けることは可能か？）

次回の委員会の日程はメール審議にて調整。

資料を提出される方は、あらかじめ準備(14部)されるか、もしくは2日前までに本小委員会のオンラインストレージまでアップロードお願いいたします。